

平成30年度美作保健所運営協議会 議事録

平成30年9月13日(木)

14:30~16:00

津山市総合福祉会館3階中会議室

<発言概要>

議事

(1) 会長の選出

山田津山市副市長が選出された。

(2) 美作保健所の運営について

質疑応答

会 長：ただ今説明のありました保健所の運営について、委員の皆様の御質問、御意見をお願いします。

委 員：今日の説明には無かったが、風疹が昨年度と比較し4倍も発生していると報道されているが、管内の発生はどうか。

事務局：現在、管内の発生はない。

委 員：医療従事者の確保について、管内の看護学校卒業生の県外と県内、県内のうち管内・管外医療機関への就職率はどうか。
それから、医師の確保の成果は上がっていないように思うが、何かしているのか。また、何か考えているのか。

事務局：看護学校ごとの管内の就職率は、各学校に問い合わせないと出ないので、今後は問合せをしてみたい。ただ、県全体の看護学校と比較すると、管内の学校については、県内の医療機関への就職率は県平均より高い。また、美作市に新しくできた専門学校には、美作市の奨学金を利用している学生がいる。

委 員：県内就職率だけでなく、管内への就職率を見て欲しい。奨学金との関係でどの様に動くか見て対策を考えて行く必要がある。

事務局：自治医大卒業医師は毎年2～3名採用となる。岡山大学・広島大学の地域枠医師は、今後最大30数名は入る予定である。地域医療支援センターは、医師が不足している地域内で手を挙げた医療機関の中から配置先を決める。研修環境が整っているかどうかも重要な基準となる。新規配置4人に対して、8病院くらいの候補からマッチングする。医療機関の垣根を越えた地域も含めてアピールして欲しい。

委員：是非お願いしたい。津山市は地域枠医師が必要であるという理由書の書きぶりが下手だと言われた。行政としても一緒に地域に来てもらえるようよろしくお願い致します。

会長：津山市の担当課に、地域医療支援センターの理由書の書き方が下手と言われた場の会議録を問い合せてアドバイスをしていただきたい。

事務局：分かりました。こういう病院であると、その魅力のアピールを一緒に考えて行きたい。

(3) その他

会長：その他、御発言はありませんか。

事務局：これまで岡山は災害が少ないと取組が少なかったが、災害対策の取組を進めて行かなければならない。

各医療機関において、ハザードマップを見て、何が想定されるのか、自助・共助・公助についても一緒に考えていきたいと思えます。

会長：当市でも被害を受けた中で、災害対策救助法の適応を受け、支援をいただいた。市でも補正予算措置を行い、復旧に向けて取り組んでいる。引き続き御支援をいただければありがたい。